

第3回

刑事司法ソーシャルワーカー養成研修

当委員会では、神奈川県弁護士会との間で「刑事弁護における社会福祉士等の紹介に関する協定」を結び、知的障がいや発達障がいのある（疑われる）被疑者や被告人への支援に取り組んでいます。この取り組みを更なる充実をさせるため、新たな担い手となる福祉関係者の養成を目的に実施いたします。

実施日時

7月27日(土) 28日(日)

10時00分～16時30分

9時30分～16時30分

会場

ビジョンセンター横浜309号室

プログラム

横浜市西区北幸2-5-15 プレミア横浜西ロビル3F ※詳細裏面

実施日	時間	内容・講師
7月27日(土)	10:00～10:10	受付・オリエンテーション・開会挨拶・自己紹介
	10:10～11:10	講義1 社会福祉士が刑事司法ソーシャルワークに取り組む意義 講師 神奈川県地域生活定着支援センター長 山下 康 氏
	11:10～12:00	事例報告1：実際の支援に関わって思ったこと 報告 刑事司法ソーシャルワークチーム
	12:00～13:00	休憩(60分)
	13:00～14:30	講義2 刑事司法の流れ・刑事司法手続きの基礎知識について 講師 宮 祐平 弁護士(シーサイド横浜法律事務所)
	14:30～15:50	演習1 ロールプレイ「弁護人との打合わせのポイント」 担当：司法福祉ネットワーク委員会 岩屋文夫 氏、高杉知明 氏
	15:50～16:20	事例報告2：実際の支援に関わって思ったこと 報告 刑事司法ソーシャルワークチーム
7月28日(日)	16:20～16:30	次回のガイダンス・1日目終了
	9:30～9:35	受付・オリエンテーション
	9:35～12:00	講義3・演習2「アセスメントの重要性」 ・ロールプレイ演習 ・情報収集、被疑者、被告人との初回接見のポイント 担当：司法福祉ネットワーク委員会 牧野賢一 氏、長島正樹 氏
	12:00～13:00	休憩(60分)
7月28日(日)	13:00～16:20	講義4・演習3「更生支援計画書とは？」 ・事例を通じてポイントを学ぶ ・模擬裁判演習(証人尋問) 担当：司法福祉ネットワーク委員会 牧野賢一 氏、長島正樹 氏
	16:20～16:30	今後の活動について、登録について、閉会

実施方法

会場参加による対面方式による開催・配信はありません。

参加条件

司法福祉ネットワーク委員会にML登録されている方または、本会会員 10名
受講後、刑事司法ソーシャルワーカーとしての活動を希望する方。
2日間の研修に両日ともに参加できる方

申込方法

右にあるQRコード、または神奈川県社会福祉士会のホームページからお申込みください。

7月24日(水) 16時までにお申し込みください。



主催

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 司法福祉ネットワーク委員会

会場アクセス

ビジョンセンター横浜307号室

横浜市西区北幸2-5-15 プレミア横浜西口ビル3F

JR東海道線・京浜東北線・横須賀線・相模鉄道 本線

「横浜駅（西口）」徒歩5分

<https://www.visioncenter.jp/yokohama/access/>



- ・お預かりした個人情報には委員会の運営目的以外には使用しません。
- ・研修の前日までに連絡ない場合は当日そのままご参加ください。
- ・感染症拡大によるスタッフ等の外出制限や、降雪・地震自然災害発生等により開催の中止・変更が生じる場合は、前日の夕方5時までに神奈川県社会福祉士会の留守電話番号（045-317-2045）及びホームページ（<http://www.kacsw.or.jp/>）でご案内いたしますので各自確認ください。

問い合わせ先：公益社団法人 神奈川県社会福祉士会

〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川県社会福祉センター4F

TEL:045-317-2045 FAX:045-317-2046 E-Mail: info@kacsw.or.jp